

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の目的

商店街は、地域の雇用や生活関連サービスなどの地域の生活に不可欠な機能を担う主体や地域コミュニティの拠点として重要な場である。一方で、地方圏を中心として、人口減少・少子高齢化の進展に加え、電子商取引（バーチャル）の普及、消費動向の変化等、商店街を取り巻く環境は厳しさを増している。

商店街実態調査は、こうした商店街の景況や空き店舗の状況、商店街が抱える問題など商店街の実態を明らかにし、今後の商店街活性化施策の基礎資料とすることを目的として中小企業庁及び独立行政法人中小企業基盤整備機構の協力を得て、全国商店街振興組合連合会が実施したものを活用し、山形県分としてとりまとめたものである。

2 調査方法

(1) 活用した全国商店街振興組合連合会の調査方法

全国商店街振興組合連合会が令和7年6月にとりまとめた今回の調査では、都道府県及び都道府県商店街振興組合連合会が所有する商店街名簿のうち、連絡先が不明等の事情で調査票が発送できない商店街を除いた計11,280商店街¹に調査票を送付している。

アンケート調査票の設問については、令和3年度の調査票を基に過去のデータとの時系列比較を行うことができるよう基本項目については前回調査に倣い作成するとともに、今回調査では、「商店街における自然災害時の応急対策」等の設問を設定している。

また、前回同様にインターネットによる回答ができるよう電子調査票を作成し、4,824件の有効回答のうち1,419件（29.4%）の回答を得ている。

調査地域	全国
調査対象	商店街 ² （商店街振興組合、事業協同組合等、その他の法人、任意団体）
調査方法	郵送による発送・回収及びインターネットによる回収
調査時点	令和6年10月1日（火）現在
調査実施期間	アンケートの発送 令和6年9月30日（月） アンケートの締め切り 令和6年11月29日（金） 督促ハガキの発送 令和6年11月22日（金） （郵送回収については令和6年12月27日（金）までの到着分、オンライン回収については令和7年1月14日（火）までの到着分を有効とした。）
調査票発送数	11,280 ³
調査票の回答 ⁴	調査票回答件数 4,843件（回答率 42.9%） うち有効回答件数 ⁵ 4,824件（有効回答率 42.8%）

¹ 商店街振興組合連合会等の連合会組織も送付先に含まれている。

² 本調査でいう「商店街」とは、①小売業、サービス業等を営む者の店舗等が主体となって街区を形成し、②これらが何らかの組織（例えば〇〇商店街振興組合、〇〇商店会等で法人格の有無及びその種類を問わない。）を形成しているものをいう。

³ 各都道府県が把握している商店街数（参考値として調査）の合計は12,091件。

⁴ 回答はあったものの無回答部分が多いものや明らかに入力内容に誤りがあると思われる調査票については無効回答として取り扱うこととした。

⁵ 既に解散した商店街（678件）は、有効回答件数には含まれているが、集計対象からは除外した。また、有効回答件数のなかでも、回答が明らかに概数で調査結果に大きな影響を与える回答や他の設問との整合性がとれない回答については、その設問のみ無回答扱いとした。

(2) 山形県の調査

(1)のうち、山形県分の調査票発送数は135であり、集計件数は64件（集計率47.4%）である。なお、回答件数及び有効回答件数は公表されていない。

山形県では、上記の調査結果を分析し、全国商店街振興組合連合会の調査に準じる形でとりまとめを行った。

3 調査項目

問1	所在する都道府県
問2	組織形態
問3	商業立地環境
問4	商店街のタイプ
問5	理事長・会長の年齢及び在職年数
問6	会員の年齢構成
問7	専従事務局職員数
問8	商店街の予算規模
問9	商店街組織の会員
問10	全体の店舗数・チェーン店舗数・空き店舗数
問11	商店街の業種構成と店舗数
問12	商店街の最近の状況と将来の展望
問13	商店街の来街者層
問14	商店街の来街者数
問15	商店街の問題
問16	商店街の空き店舗
問17	商店街の組織形態
問18	組織形態が商店街振興組合でない理由
問19	商店街の組織と活動
問20	商店街の各種事業の取組状況
問21	商店街周辺地域が商店街に与える影響
問22	商店街活性化のための事業
問23	アーケードの設置、改修及び撤去
問24	自然災害発生時の応急対策
問25	キャッシュレス決済の推進状況
問26	自治体からの支援の状況
問27	まちづくり会社との連携・協力の状況
問28	商店街の相談窓口
問29	外部人材との連携・協力状況
問30	新型コロナウイルス感染症の影響

4 本報告書を読む際の注意事項

- ・ 表中の比率（％）は、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、率の合計値が100％にならない場合もある。
- ・ 複数回答については、回答者数を母数とし、比率を算出している。したがって、率の合計値が100％にならない場合もある。